

現状把握

企業が求めるのは チャレンジ精神や異文化理解力

図1は、海外に支社や事業所などを構える日本企業の数の推移を表したものだ。製造業、非製造業ともに増加傾向にあり、日本企業のグローバル展開が拡大していることが分かる。それを受け、国籍に関係なく優秀な人材を確保しようと、多くの企業が外国籍の人材の雇用を実施している(図2)。

では、グローバル化社会において求められるのは、どのような資質を持った人材なのだろうか。就職活動サイトを運営するジヨブウェブと企業の人事業務をサポートするレジエнда・コーポレーションの共同調査によると、トップ3は「チャレンジ

図1 日本企業の現地法人企業数の推移(業種別)

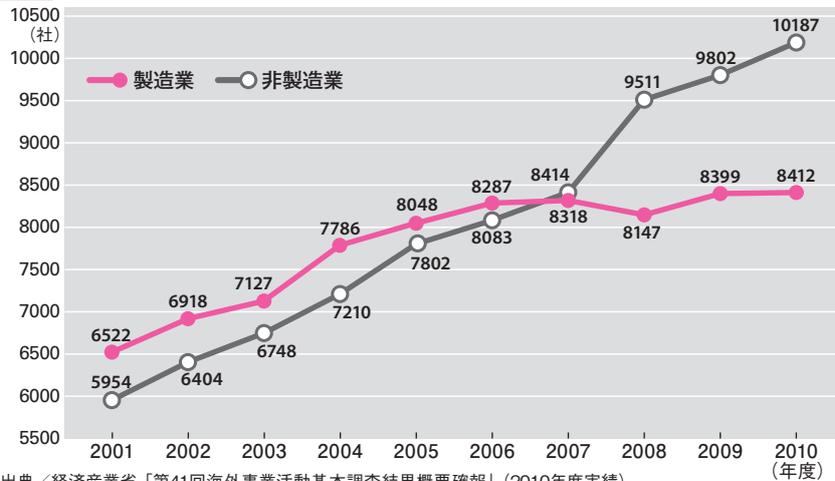
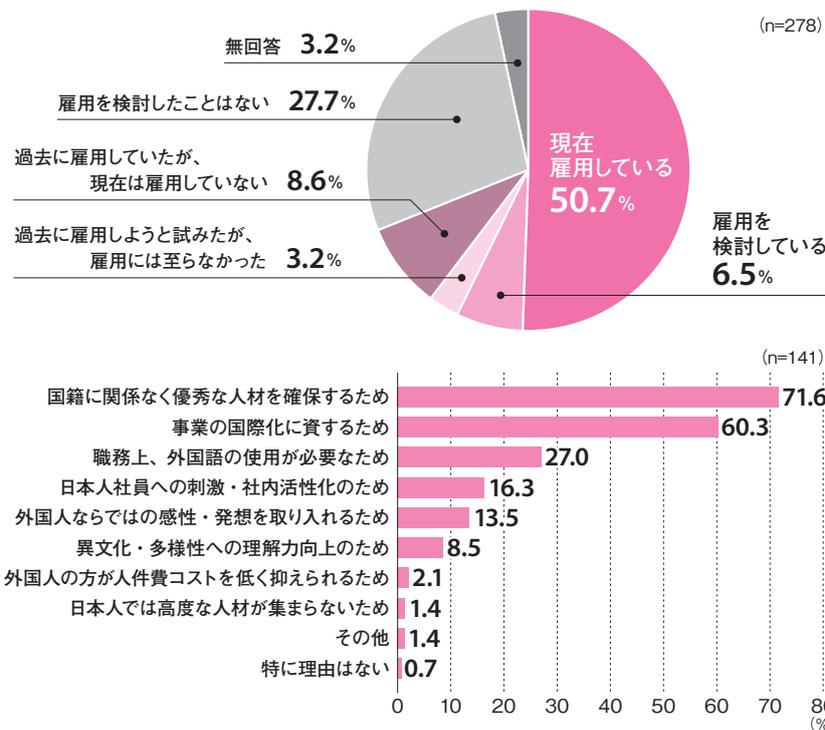


図2 高度外国人材(*1)の雇用と理由(理由は複数回答)



*1 ここでは、日本の国籍を有しない者で教育レベルが大卒以上の者、あるいは在留資格が「研究」「技術」「人文知識・国際業務」の者
出典/一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会「TOEIC® 大学就職課調査」「上場企業における英語活用実態調査」調査報告書(2011年6月)

生徒を待ち受ける
「グローバル化」「デジタル化」の波

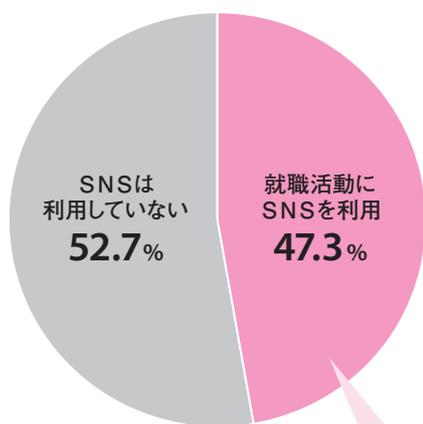
「グローバル化」「デジタル化」はどの程度進展しているのか。将来、生徒が生き抜いていかなければならない社会を、具体的なデータを基に考える。

精神」「異文化理解力」「英語力」だった(図3)。グローバル化社会においては、英語力だけではなく、環境変化に立ち向かおうとする「チャレンジ精神」や、多様な価値観を受け入れるために必要な「異文化理解力」が重要だと考えている企業が多いようだ。

**デジタル技術を駆使する力よりも
情報を見極める力が必要**

このような社会を生きる上で役立つツールの一つがデジタル技術である。例えば、情報戦ともなっている現在の就職活動では、デジタル技術の活用が優位性を築く上での鍵のようだ(図4)。その際に求められるのは、デジタル技術や機器を使いこなす力ではなく、正しい情報や自分にとって必要な情報を見極める力だ。図5が示すように、世の中の全ての情報が信頼できるものとは限らない。グローバル化、デジタル化が進み、ますます大量の情報があふれる社会においては、情報を見極める力がより一層重要になるだろう。

図4 大学3年生の就職活動でのSNS(*2)利用実態



- ◎就職活動でSNSを利用している目的
 - 1位 少しでも企業の情報が欲しいから 54.2%
 - 2位 企業の雰囲気や風土を具体的に知ることができるから 44.4%
 - 3位 使える手段はすべて使いたいから 30.3%
- ◎就職活動にSNSを利用してよかったこと
 - 1位 幅広い情報の取得
「幅広い情報を自宅にしながらして得ることができる」
 - 2位 情報のいち早い入手
「説明会に早期予約できた」
 - 3位 深い情報の取得
「就職支援サイトなどに載っていない情報が手に入った」

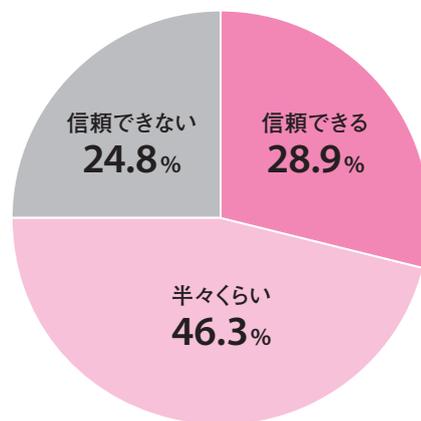
*2 SNSとは、社会的ネットワークをインターネット上で構築するサービスのこと。その名称は、Social Networking Serviceの頭文字を取ったもの。出典/株式会社電通パブリックリレーションズ「大学3年生における『ソーシャルリクルーティング』に関する調査」(2012年1月)

図3 新卒採用において、グローバル人材になるために必要な資質

	グローバル人材採用実施企業	グローバル人材採用未実施企業
チャレンジ精神	63.2%	36.4%
異文化理解力	61.4%	31.2%
英語力	33.3%	40.6%
チームワーク	29.8%	33.3%
柔軟性	21.1%	28.1%
リーダーシップ	19.3%	20.8%
論理性	12.3%	16.6%
責任感	10.5%	13.5%
発信力	8.8%	15.6%
専門性	8.8%	11.4%
好奇心	8.8%	6.2%
自国のアイデンティティ	7.0%	6.2%
その他語学力(英語・日本語以外)	3.5%	10.4%
交渉力	3.5%	7.2%
マネジメント力	1.8%	4.1%
その他	5.3%	13.5%

注1) 選択肢の中から優先度の高い項目を3つまで選択
出典/株式会社ジョブウェブ、レジェンダ・コーポレーション株式会社「2013年新卒 採用担当者意識調査(12月度)」

図5 情報源としてのインターネットの信頼性



出典/総務省「平成23年版 情報通信白書」